

減量に関する大学生の情報利用行動の諸要因

糸久 靖夫

現在日本では肥満や生活習慣病などの健康に関わる多種多様な情報があふれており、減量情報を取得できるメディアもテレビやインターネットを筆頭に本や新聞、果ては噂話などの様々な形態がある。このような情報の過多とも言える状況で、人々はどのようにして健康情報の取捨選択を行っているのだろうか。インターネット等を利用して健康情報を探索する上で、情報資源に対する誤解・信頼性などの様々な要素が実際の探索行動に影響を与えていることが分かる。そこで、インターネットを利用して日常的な健康情報を得る際に、得た情報の信頼性や情報リテラシー、探索者が持つ知識量と言ったどのような要素が情報探索・実際の行動に影響を与えているかを明らかにする。

本研究ではテキスト型データの収集を行い、収集したテキストを WordMiner(日本電子株式会社)を使用してテキストマイニングを行った。まず、人力検索はてな・Yahoo!知恵袋・教えて!goo の 3 つの質問回答サイトから質問文を収集し、1) 意気込み度が高い人ほど減量情報に信頼を求めており、病気や健康を気にしている。2) 減量の効果や持続性などの実践的な情報を求めている人は、自分の体型などを気にしている。3) 意欲が相対的に低い人は減量についての経験や方法など大まかな情報を求めている。という事が分かった。

次に大学生に対する質問紙調査を実施した。大学生が減量について考えるときにも、健康に対して意識を持つ傾向が強いことが分かった。また健康に対しての意識を持っている人は減量を過去に実践したことがある、美容もしくは健康のどちらかの明確な減量に対してのイメージを持っている、減量の実践方法などの通俗的な知識には疎い面があるが科学的知識は豊富に持っている、頻繁に減量情報を調べている人だとわかった。一方、健康よりも減量の実践に関する要素に興味を示している人は減量を現在やっている、科学的な理論などの知識が少ないが減量の実践に関連する知識を多く持っている人だとわかった。

大学生が減量について考えるときに健康に対して強く意識を持ち、情報の信頼性や意気込み度が情報の探索に関連する事が分かった。大学生が病気などのリスクの意味からのダイエットをしていることは少数であることは質問回答サイトからの分析でわかっている。しかし、将来今回の調査対象者の大学生のような減量を求める人が出たときに必要になる可能性も考えられる。健康に関する減量の利用行動に影響を与える要素が分かることは、将来健康のための減量が必要となったときに、どのような要素が減量情報の探索の上で関わってくる事が分かることは有意義であると考えられる。

(指導教員 歳森敦)